

## 1 計画改定の趣旨

京都府では、2014(平成26)年に今後10年間を見通した本府のスポーツ推進に関する基本計画として、「京都府スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画策定後、スポーツ庁の創設や「第2期スポーツ基本計画」の策定、更には、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と、3年連続で国内で大規模な国際スポーツ大会が開催されるなど、スポーツに関する環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、「京都府スポーツ推進計画」の基本的な趣旨を継承し、各目標の達成に向けて積極的に取り組んでいくことを基本としつつ、これまでの成果や課題を明らかにした上で、今後5年間で必要な施策について新たに計画に盛り込むべきと考え、改定することとしました。

## 2 計画の期間

2014(平成26)年度から2023年度までの10年間です。



ワールドマスターズゲームズ2021関西  
大会マスコット「スフラ」

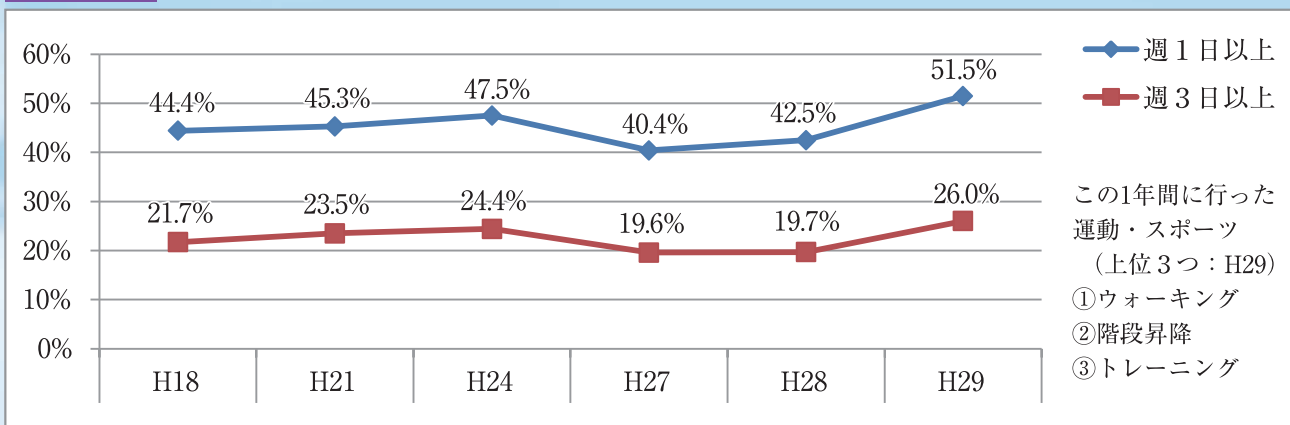
## 3 計画策定以降の本府の運動・スポーツに関する現状と課題

### (1) 成人のスポーツ実施率

- 週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は、H29:48.7%(H24:53.6%)、週3日以上では、H29:24.7%(H24:26.8%)であり、前回調査や国の実施率を下回る結果となっています。また、国や本府の目標である週1日以上運動・スポーツをする成人の割合、約65%(週3日以上:約30%)には届いていません。
- 運動・スポーツを行った理由としては、「健康・体力づくり」、「運動不足を感じる」、「楽しみ・気晴らし」など様々です。
- 運動・スポーツをしなかった理由としては、「年をとったから」、「仕事(家事・育児・介護等含む)が忙しい」、「機会がない」、「面倒だから」と続いています。特に70歳以上では、「年をとったから」、30歳代以下と40~50歳代では「仕事が忙しい」、「機会がない」が多く、「仕事が忙しい」、「面倒だから」をあげる人は若い年代ほど多くなっています。

成人のスポーツ実施率の推移

【全国】



<出典> 「平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」 (スポーツ庁)